



カロリーアンサー通信

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック 営業本部 東京営業所

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目20番12号

ツナシマ第二ビル 4階

Vol. 5 3

OTEL 03-6246-1360 OFAX 03-6736-0520 O <http://www.j-world.co.jp/>

責任編集者：小田桐 英夫 携帯 090-2027-0396

ご挨拶

皆さん、こんにちは。ずばらで几帳面でない私でも（朝、電車に乗る時間はバラバラ、乗車する号車もテキトー）湯島駅6番から出ると、いつもの道を通り会社に向かうのですが、地下鉄の階段を上りきった正面には「じっくり煮込んだハヤシライスはいかがですか」という看板があっていつも気になっていました。でもそこは会社に向かう道でない方向だから…ある日のランチタイム、意を決し駅とは反対方向に歩き今日こそハヤシライスを！目当ての店は横文字の名前でひっそりと営業しておりました。おそるおそる扉を開け中に、カウンターの中にはマスターとママがいて私より10歳くらい若そうな女性がオーダーを取っていました。一人なのでカウンターに座ろうとしたらマスターが「そこは暑いですからボックスの方へどうぞ」と。ハヤシライスのランチセットを注文し店内をウォッチング、5組くらいでしょうか、落ち着いた佇まいなのでみんな静かに食事を愉しんでいます。付け合せは小さな器に盛られたポテトサラダ、福神漬け、フルーツポンチ（のような）です、ハヤシライスが出てくる前にポテトサラダを小さなスプーンで食べてみました。絶妙！実にシンプルながら美味しい（自分で作るといつもマヨが多すぎて三口くらい食べると飽きてしまいますが）何かの雑誌にポテトサラダの美味しい店は何を食べても外れがないと書いてあったことを思い出し頭の中は「ごちそうさん」状態に。きたきた！洋食屋らしく白いプレートに成型されたご飯とたっぷりのハヤシが。コクのあるデミグラスソースと牛バラが看板通りしっかりと煮込まれておりました（偽りなし）熱々をほうばり大満足でした。少しだけ余韻に浸りたくてアイスコーヒーを注文しました。豆を挽いて販売しているようでしたから美味しいんでしょう（コーヒーの味は分からないので）チュルチュルとすすりお会計です。1536円です！（エエッ、ランチセットが800円なのに、アイスコーヒーは一体なんぼ？）まあ、紳士ですから一瞬もたじろぐ訳にはまいりません。店を出てからトホホ状態のおじさんに。カフェベローチェならアイスコーヒーは200円で、しかも50円の割引券を持っているので150円で飲めたなど。すき屋なら1週間もったなど、どこまでも悔恨の情が湧いてきて止まらない、昼休みの出来事でした。



● 内閣府（消費者庁食品表示企画課第五回栄養表示に関する調査会より）

表示レイアウトについて検討された内容です、現行の栄養表示基準の熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、**ナトリウム**の順に表示していました、以前は、ナトリウムを二番目に検討とありましたが、「なじみあるものであり見直す必要性は特段生じない」と判断されました。しかし、一部変更があり、熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、**食塩相当量**、（ナトリウム）となったようです。

義務表示事項のみ
表示する場合

栄養成分表示	
食品単位(100g若しくは100ml 又は1食分(1食分の量を併記)、1包装その他の1単位)	
熱量	kcal
たんぱく質	g
脂質	g
炭水化物	g
食塩相当量	g

● 営業状況

今月は、CA-HMご注文頂きました茨城県のお客様へ納品があります。他には、岩手県、埼玉県のお客様と製品仕様について商談中です、北海道のお客様よりご注文を頂きまして、11月納品が決まっています。CA-HM・HNともに急ピッチで生産を進めておりますが、納品には時間が掛かりそうです。ご検討のお客様は、お早めにご商談頂きまして、ご注文の程宜しくお願い致します。

● 巣鴨の無識者会議

前号では床屋のマスターが中国の結婚式に出席してきた際の土産話を聞きながら綴ってみました。5千年の歴史を有する国ですから5泊6日の旅くらいで語り尽くせるものではないと。人口が日本の10.5倍、国土は25倍という途方もなく大きな国でしたから日本人のような島国特有のスケール感では中国の現状を正確にとらえきれぬものではないと力説しておりました（ちなみに米国はようやく建国240年で人口は3.2億人）例えば日本では地方で起きている些細な出来事にも論評があり評価があります。北海道の人が沖縄の事情について身近ではないにしろある程度は理解できていますし、



中国での料理審査会

いつかNHKでやっていたような方言から想起する料理の番組などが成り立つ訳です。中国の場合、地方と言っても省単位では日本の国土より大きな行政区が7ヶ所もあります、日本の政令指定都市（人口50万人以上の都市）は20ヶ所にすぎませんが中国は人口100万人を超える都市が142ヶ所もあり2020年までに220ヶ所まで増えると言われております。よく精神文化の違いを言われますが日本人の感覚で計り知れない奥行きや深さや懐の深さを昔の人は中国の大人（たいじん）と称したのでしょう。中国の歴史は大河の如く流れ、清濁併せながら何もかも呑み込み悠々と流れていくのでしょう。日本の利根川でも信濃川でも対岸が見えないほど広い川幅はありませんが中国では川なのか海なのか、そういう地形的なスケールが市井の生活観でも違うのでしょう。ですから前号で記したような日常も些細なこと。反日教育や歴史観の問題で政治がギクシャクしておりますがたかだかここ20年来のこと（日清戦争からは150年くらいでしょうか）実際に日本を訪れた観光客や日本に留学している学生達は日本鬼子という刷り込まれたイメージと現実のギャップに驚き京都を観て在りし日の唐を想うのだそうです。床屋のマスターもまた反日の国という先入観があって恐々とした気持ちで中国の人たちと一献交えたのだけれど杞憂に過ぎず実に楽しいときを過ごしたのだと。陸一心は歴史に翻弄されながら波乱万丈の半生を描いたフィクションの主人公でしたが私の母と母の兄も同様でした。幼き時分に別れ50数年振りに再会し一夜泣き明かしたそうです。日本に帰らないかと言われた時に、二つの祖国と二人の父を持ち心が揺れ動きながらも育てられた祖国を選びました「大地の子だから」と。日中友好はお互いが歩み寄る努力を惜しまなければ簡単に出来ると思います。「一衣帯水」の国同士だから。とは言っても、南シナ海に引いた九段線を今から650年ほど前の明の時代から「わーのもの」であったと強弁したり、アジア信頼醸成措置会議で出席者を迎える様はさながら（日本なら車寄せから降りた賓客を首相が迎えるようなシーンが思い浮かびますが今回は赤い絨毯の上で大柄な習主席が両手を広げ出迎えていた）貢物は何だ！というような朝貢外交を思わせますね。人民は懸命に生きているのに14億の中でほんの一握りにすぎない支配層が世界の中で脅威を増幅させています。まあ、日本にも獅子身中の虫という月刊誌に狭隘で無知な世界観を披露した自民党の幹部がいたり共産党の機関紙に自衛隊員の名譽を踏みにじるような投稿をした元自民党の重鎮がいたり（自由というか節操がないというか）やはり日本は言論の自由も保障されているし黒を白と強制される理不尽も少ない分、恵まれているのでしょうね。最後に床屋の親父が言いました、中国で角刈りがなんであんなに流行ったのかって？高倉健さんだよ「君よ憤怒の河を渉れ」という映画が79年に初めて中国で公開され中国でも健さんの律儀で寡黙な男くささが大共感を呼んだんだって。だから年配の中国人の中で一番有名な日本人が高倉健だと、ちなみに若い男性の間では蒼いぞらだって！エエ？

ご商談申込用紙

本製品へのお問合せは、電話、E-mailまたはFAXにてお申し込み戴けます。
(太字、太枠の部分へ必要事項ご記入の上、FAX 又はメールにてお送り下さい。)
ご希望のいずれかを○で囲んでください。

1、ご商談内容

① 資料送付 ② 説明訪問 ③ お見積り ④ デモンストレーション

2、ご希望商談場所

① 東京事務所 ② 青森本社 ③ 御社指定場所

3、ご希望日程、お時間

第一希望日時	
第二希望日時	

※ご希望戴きました日時調整について、ご連絡させて戴きます。

企業 / 法人名		
御住所		
御担当者様	(ふりがな)	
	(お名前)	
御連絡先	TEL	FAX
	E-mail	
御社への御連絡方法	TEL・E-mail・FAX (いずれかを○で囲んで下さい)	

※ご記入いただきました情報は本製品販売以外の目的では使用しません。

連絡先

TEL: **03-6240-1360** (月～金 AM9:00～PM5:00)
E-Mail: hideo@j-world.co.jp Mobile **090-2027-0396**
FAX: **03-6736-0520** (24時間受付)

株式会社 ジョイ・ワールド・パシフィック

本社：〒036-0162 青森県平川市館山前田 85-2

東京営業所：〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-12

ツナシマ第二ビル 4F

担当：小田桐